

# 福島で初の夜間議会 盛況

## 仕事後の町民ら51人傍聴

【福島】町議会は9日、同日開会した第1回定例会で初の夜間議会を試験的に実施した。一般質問は、町民51人が傍聴に話

め掛け、傍聴席に入り切らなかつた人は、役場1階ロビーのテレビで議場の映像を見るほどの盛況ぶりだった。

町民からの要望があったことや、議員の改選期を控えていることなどがら町政や議会への理解を深めてもらおうと実施。午後6時半に開会。溝部

幸基議長は「住民と協働のまちづくりが求められている。開かれた議会を目指してさらに努力する」とあいさつした。

一般質問は1月の補選で初当選した木村隆氏からスタート。各議員と理事者とのやり取りに町民は静かに耳を傾けた。

開会1時間前に来場した町月崎の自営業稲村昭雄さん(64)は「興味はあったが、昼間は仕事があるので来られなかつた。まずは議会がどのようなものか知りたい」と熱い視線を注いでいた。予算案など6件可決

午前10時からの本会議  
 業の推進②安全・安心、災害に強いまちづくり③まちづくり基本条例の制定④子どもたちをほぐくむ教育環境の整備⑤自然の推進①の5項目を今期の最重要課題に掲げた。

(小泉まや)



多数の町民が傍聴席を満席にした福島町初の夜間議会

では、会期を10日までの11日間と決めた。62

57万円を減額して総額を30億2651万円とする2006年度の一般会計補正予算案など議案

6件を原案通り、可決。町政執行方針演説で村田

駿町長は①活力ある水産

業の推進②安全・安心、

災害に強いまちづくり③

まちづくり基本条例の制

定④子どもたちをほぐく

む教育環境の整備⑤自然

の推進①の5項目を今

期の最重要課題に掲げ